

LINE プロダクト 媒体資料

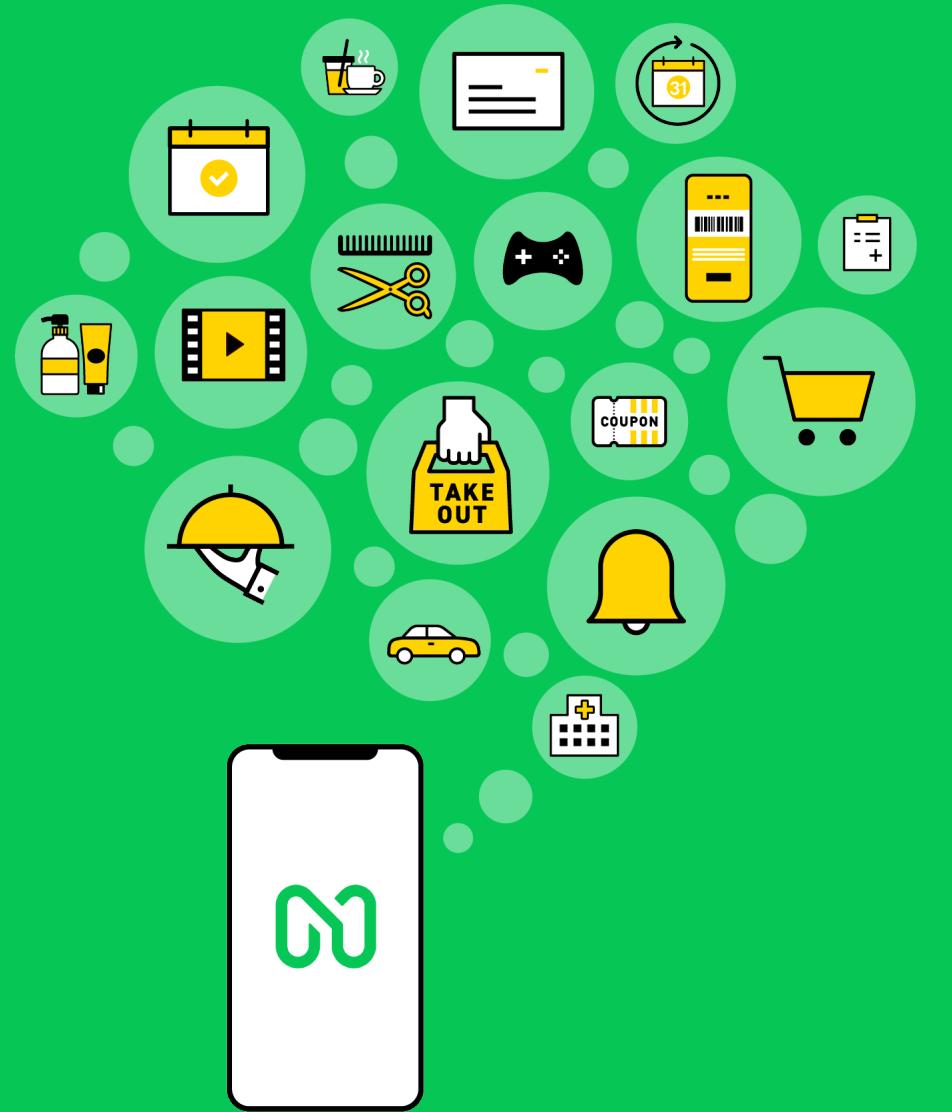
LINEミニアプリ

LINEヤフー株式会社
CBドメイン

2025/11/07 更新

LINEヤフー

LINEミニアプリとは



LINE ミニアプリ

企業や店舗のアプリをLINE上で提供できる
アプリプラットフォーム

LINEアプリ上で
多様なサービスを
展開できる

ダウンロード不要で
かんたんに
サービス利用

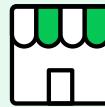
友だち追加を
促進できる※1

LINEミニアプリの利用シーン

企業や店舗が、生活のあらゆるニーズに対応するサービスをLINEの中で提供することができるアプリプラットフォームです。ユーザーは、アプリを追加でダウンロードしなくとも、さまざまなサービスをLINE上で利用することができます。

小売業

- ・デジタル会員証
- ・デジタルクーポン
- ・スタンプカード
- ・オンラインショッピング
- ・販促キャンペーン



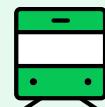
飲食業

- ・飲食店予約
- ・店内注文
- ・テイクアウト注文
- ・デリバリー



旅行・交通

- ・タクシー配車
- ・レンタカー予約
- ・乗り換え案内



美容・ヘルスケア

- ・ジム・美容院予約
- ・処方箋送信
- ・健康管理
- ・オンライン診療



教育・行政

- ・学習塾・習い事予約
- ・年賀状送信
- ・粗大ゴミ収集受付
- ・図書館利用カード



スポーツ・エンターテイメント

- ・イベント整理券
- ・テーマパーク施設順番待ち
- ・クラブチーム公式アプリ
- ・ゲームアプリ

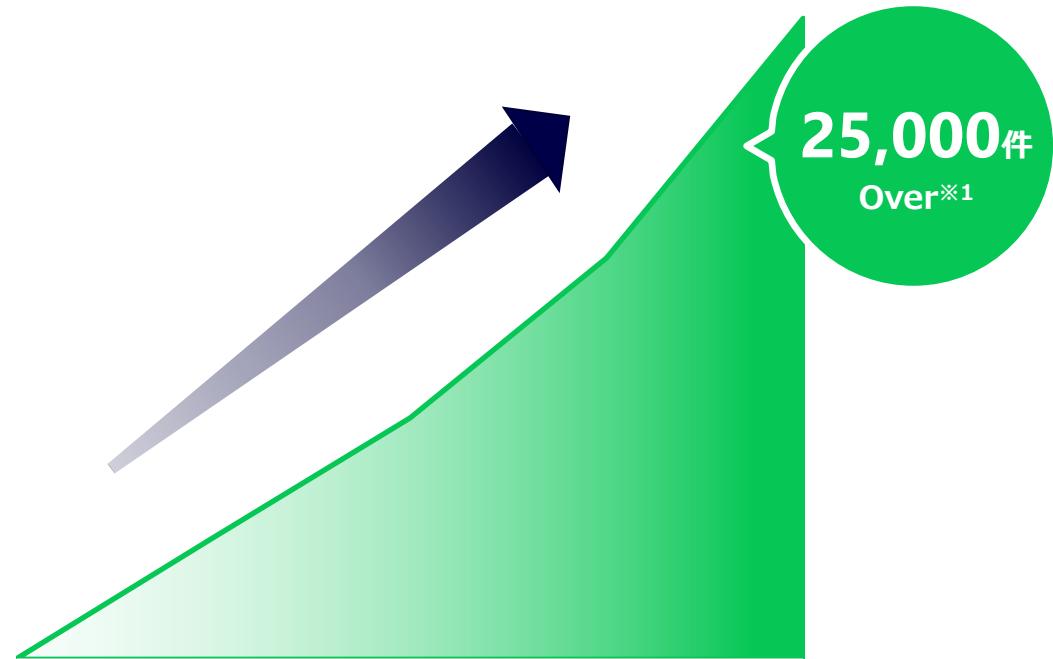


LINEミニアプリが注目される理由

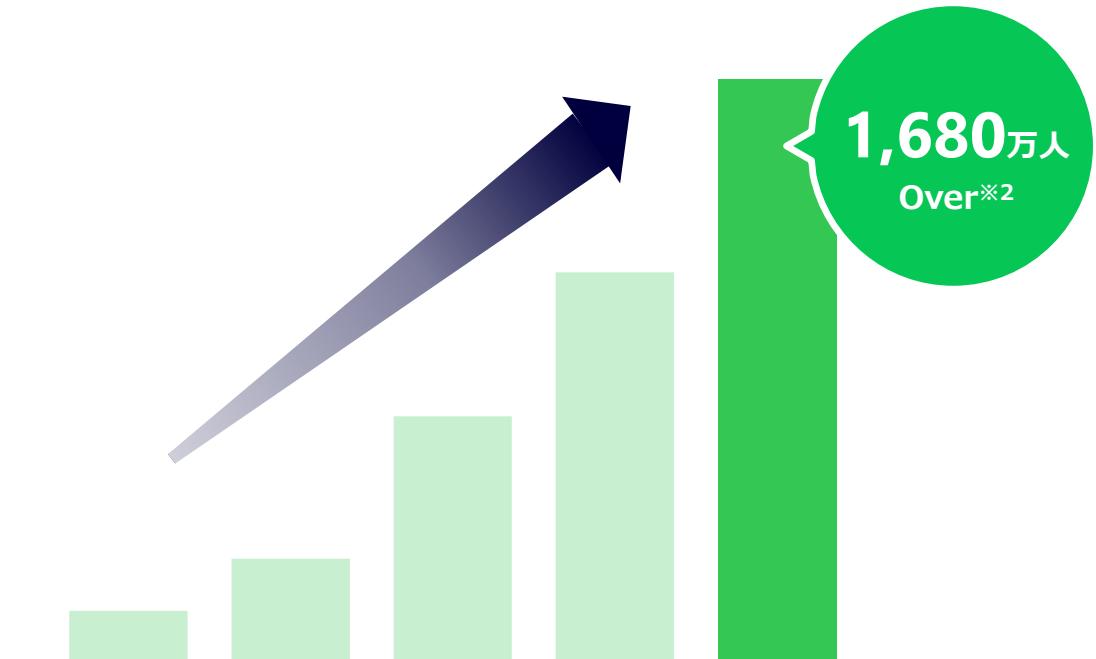
LINEミニアプリの利用状況

LINEミニアプリは様々な業種で導入が進み、2025年9月時点でリリース数は25,000件を超えていました。また、月間利用ユーザー数(MAU)も1,680万人を超え、多くのユーザーにご利用いただいております。

LINEミニアプリのリリース数



LINEミニアプリのMAU



ネイティブアプリをダウンロード時に感じること

ネイティブアプリのダウンロード時には約4割のユーザーが「バッテリーの消耗が激しくなるか不安」、「アプリが使いやすいかどうか気になる」、「スマートフォンのストレージが足りるか心配」と感じています。
お店でアプリのダウンロードをお願いされた時、約7割のユーザーが断った経験があると回答しました。

アプリをダウンロードする際に感じること

Q9

スマートフォンのアプリをダウンロードする際に感じることを教えてください。
あてはまるものを全てお選びください。

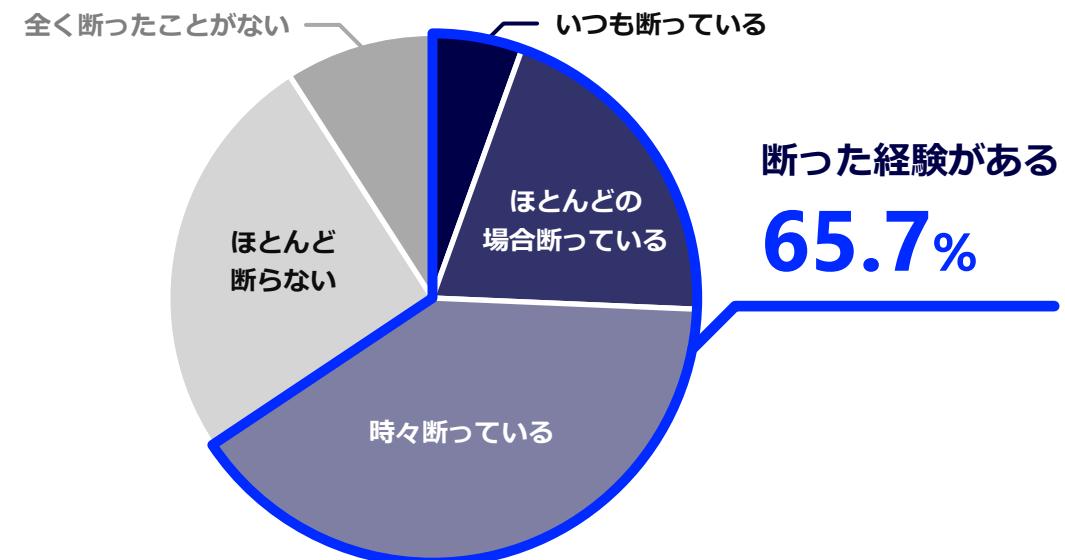
選択比率 ※複数選択・ランダム表示

- バッテリーの消耗が激しくなるか不安 42.5%
- アプリが使いやすいかどうか気になる 41.5%
- スマートフォンのストレージが足りるか心配 37.4%
- 通信容量を消費しないか心配 35.2%
- アプリがすぐに不要になるかもしれない 32.1%
- ダウンロード後の設定や初期設定が面倒 26.9%
- ダウンロードに時間がかかる 19.4%
- ダウンロードが簡単で便利 17.3%
- 新しい機能を試すのが楽しみ 13.8%
- アプリのデザインが魅力的 4.0%
- その他 1.3%

お店でアプリのダウンロードを断った経験

Q10

お店でスマートフォンのアプリのダウンロードをお願いされた際に、ダウンロードの時間や手間、スマートフォンの通信容量の消費やストレージの消費などが理由でダウンロードを断った経験はありますか？



※ あなたご自身に関するアンケート（総サンプル数 n=1,488）

※ 調査委託先:マクロミル / 回答者:スマートフォン利用者、且つLINEアプリ利用者 / 調査期間:24/08/05~08/07

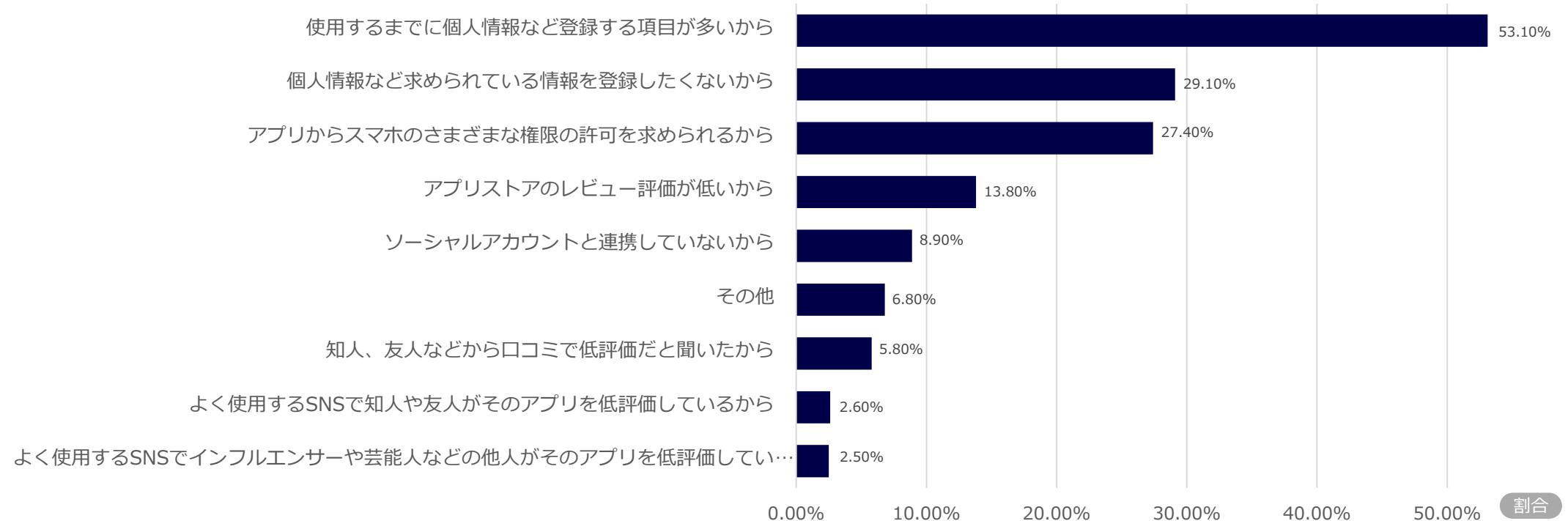
登録がハードルとなりアプリが利用されないケースが多い

さらにアプリをインストールしたものの、使用されない理由として最も多い理由は、

「使用するまでに個人情報など登録する項目が多いから」でした。

こういった背景から、**容易にログインができ最短でサービス利用できるユーザーエクスペリエンスの重要性が伺えます。**

インストールしたにも関わらず使用まで至らなかつた理由※1



※1 日本総研 ライフスタイル系のアプリについてのユーザーの意識・利用状況調査

調査期間：2022年11月 対象者：スマートフォンを所有し、ライフスタイル系アプリを1つ以上 使用している15歳以上的一般消費者1,500名

なぜLINEミニアプリが注目されているのか？

利便性とユーザーエクスペリエンス

01



利用ハードルが低く、アクセスも容易

LINEアプリ内で利用できるため、新規のアプリDLが不要。さらにQRコードやスマホ画面上のショートカットアイコンから簡単にアクセスできる。

02



シームレスな連携

他のLINE機能とスムーズに連携できるためユーザーは一貫した体験を享受でき、ユーザー認証や情報管理も簡便になる。

03



LINEを使ったお知らせや友だちシェア

専用のメッセージ機能で企業がユーザーに通知を送信したり、シェア機能を活用して友だちへの情報共有やおすすめを手軽にできる。

ビジネス価値とマーケティング効果

01



顧客リーチの拡大

MAU9,900万人以上※1のユーザーがいるLINEで広範な顧客層にアプローチすることができ、LINEミニアプリ経由で友だちを自然に集めることができる。

02



開発コスト削減と効率化

新たなアプリ開発や運用に比べて、LINEミニアプリの開発は比較的コストが低く、短期間でリリース可能。クラウドベースで運用されるため、保守やアップデートも簡単。

03



データ活用と分析

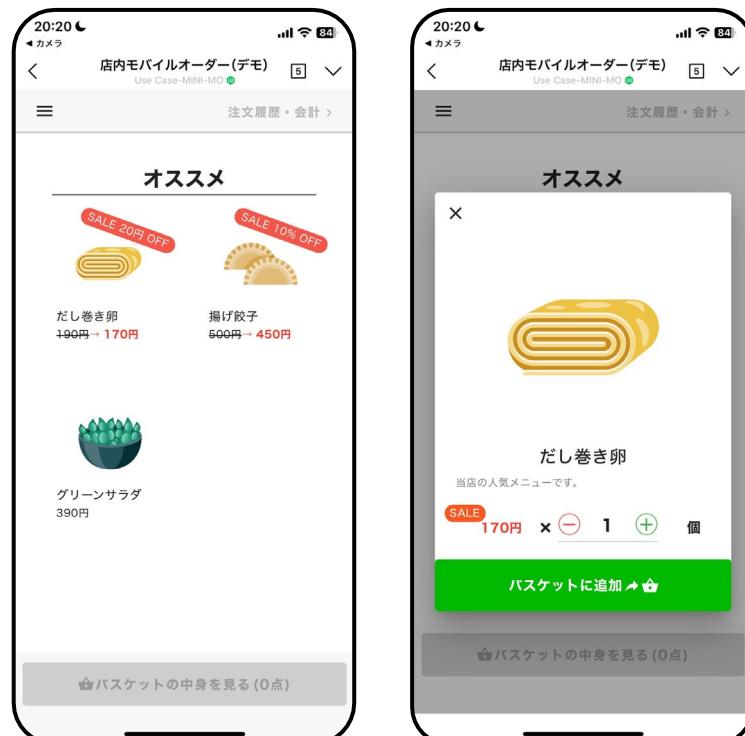
LINEミニアプリで集めたユーザー行動や利用データを用いて、パーソナライズされたサービス提供や、LINEを活用した効率的な販促・広告活動を行うことができる。

サービス例

サービス例

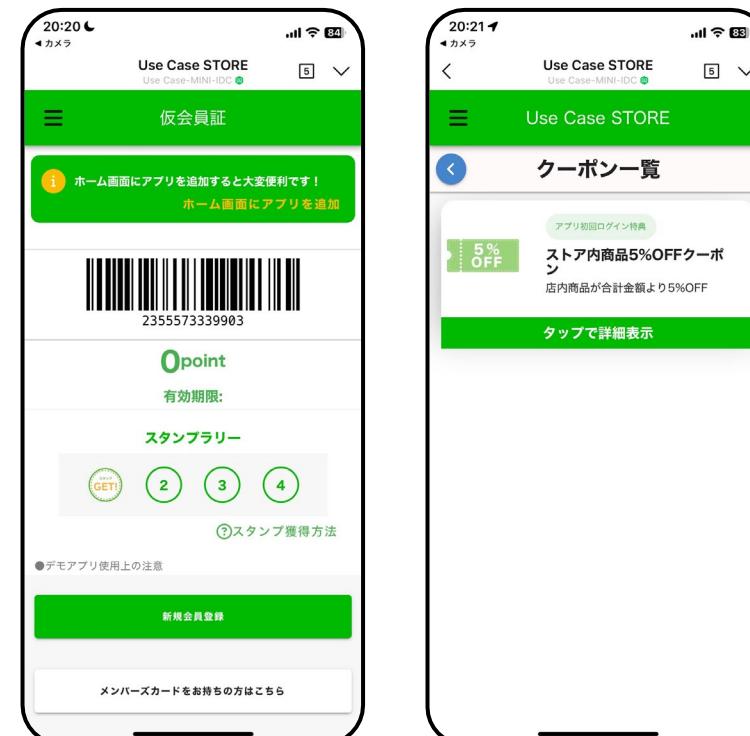
モバイルオーダー

LINEミニアプリでメニューを注文したり決済まで完了できるサービスを提供することで、商品提供にかかる時間を短縮でき、顧客満足度向上や人材不足の解消を実現できます。また、LINEのユーザーIDとそれに紐付いた顧客一人ひとりの来店回数や注文傾向を可視化させることで、商品開発や店舗オペレーションの改善、再来店施策に活かすことができます。



デジタル会員証

LINEのユーザーIDを識別子として利用することで、QRコードを読み込んでもらうだけで簡単に会員証やポイントカードの発行を行うことができます。面倒な会員登録やアプリインストールが一切不要なため、店舗側にとって接客の効率化はもちろん、これまで会員登録していなかった層への会員化促進効果も期待できます。



サービス例

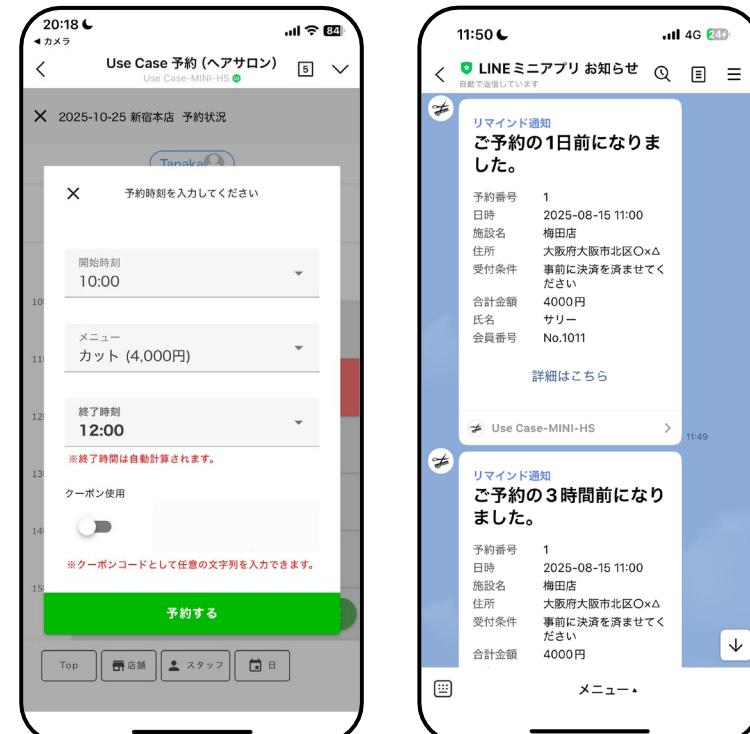
順番待ち・呼び出し

LINEミニアプリで順番待ちサービスを提供することで、サービスメッセージを使ってユーザーの呼び出しを行うことができます。従来、店舗に来店しないとできなかった混雑状況の確認や発券もLINE上で行えるため、順番待ちによる店内の混雑が緩和され、ユーザーにストレスなく店舗を利用してもらいやすくなります。



予約

LINEミニアプリで来店予約の受付を行うことで、予約前日のリマインドや予約の空き状況をサービスメッセージ通知することができます。また、LINE上で手軽に予約できるようになるため、リピート率の向上を目指せるほか、予約受付に関するオペレーションの効率化も実現できます。



demo : ヘアサロン予約



demo : レストラン予約

※本ページに掲載している画像はすべて参考イメージです。

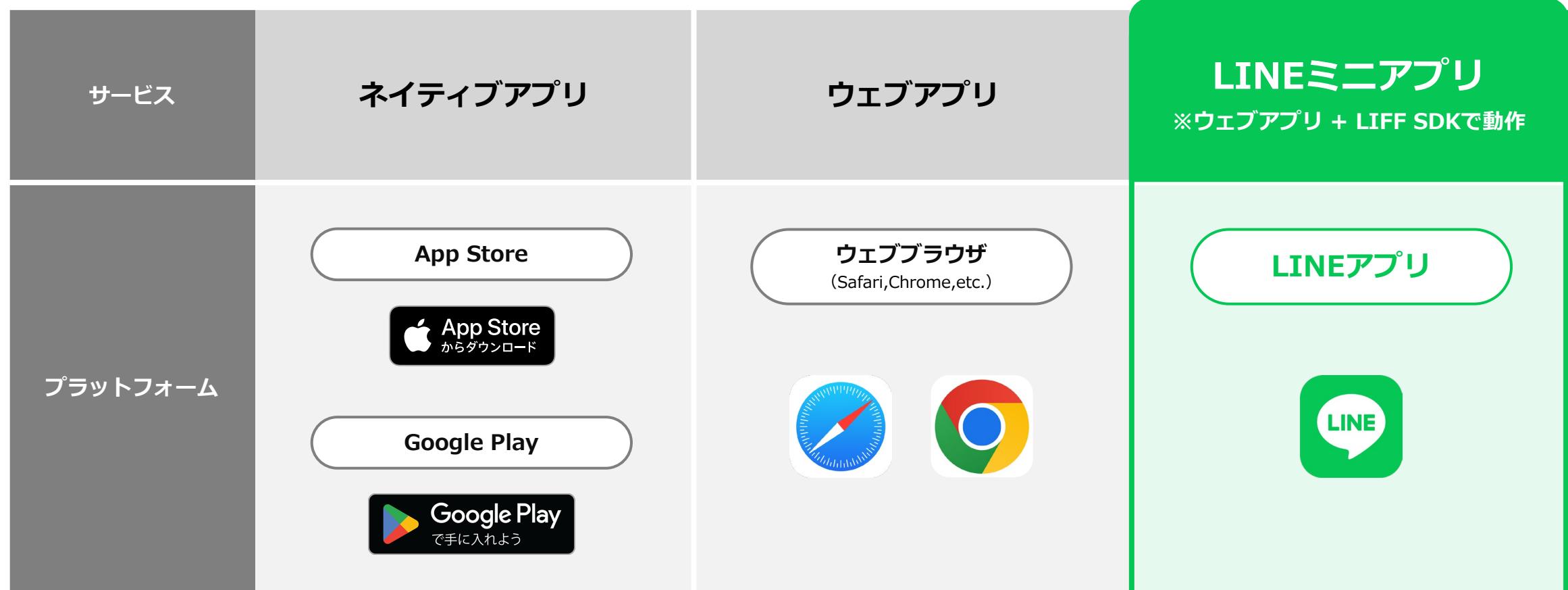
※[LINEミニアプリポリシー](#)に基づいたサービスであれば、本資料でご紹介しているサービス例以外のサービスもLINEミニアプリ上で提供が可能です。

基本的な仕組みと特徴

ネイティブアプリ・ウェブアプリに代わる新たなプラットフォーム

LINEミニアプリは、LINEアプリ内で動作するウェブアプリケーションです。

LIFF (LINE Front-end Framework) を活用して開発することができ、LINE DevelopersコンソールのLINEミニアプリチャネルを通じてどなたでも無料でサービスを公開することができます。



ネイティブアプリ・ウェブアプリとの違い

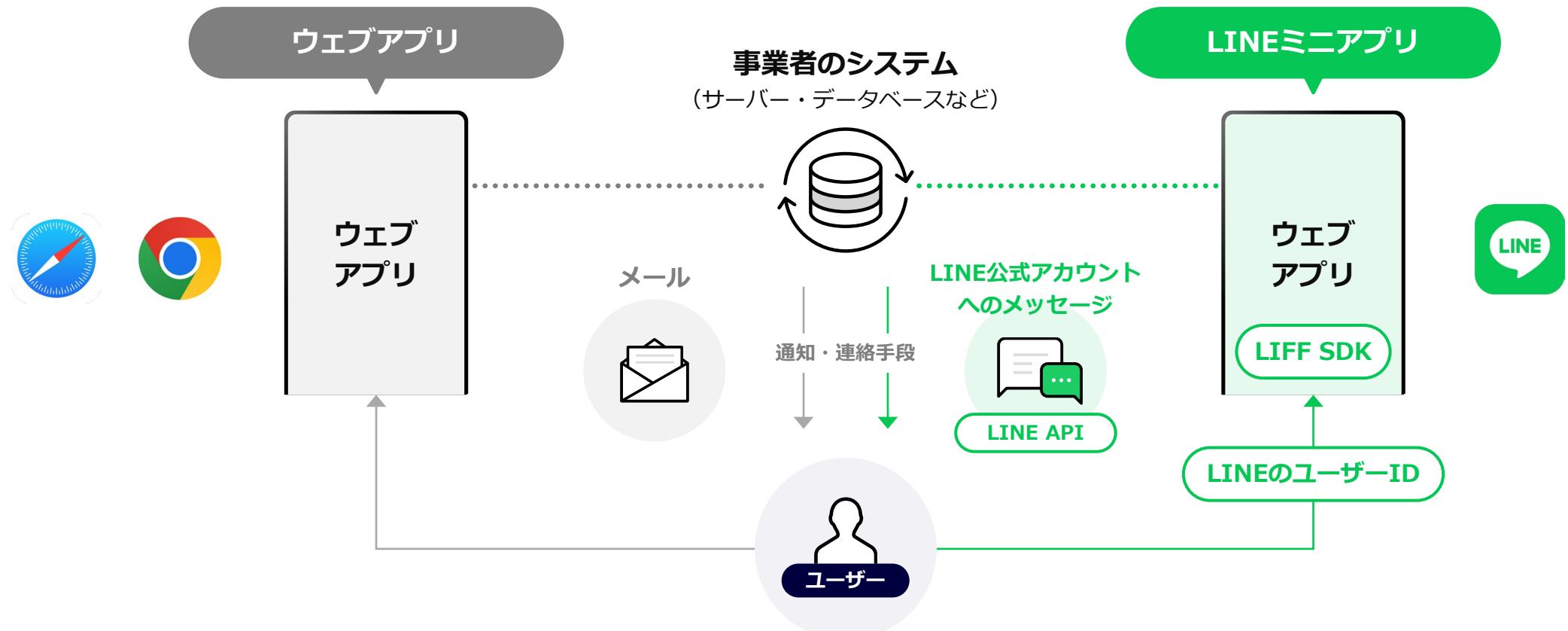
LINEミニアプリは、ダウンロード不要で即時に利用可能で、ユーザーのLINEアカウントとシームレスに連携します。

また、LINEの豊富なAPIにアクセスでき、メッセージ送信やユーザー情報取得が容易です。これにより、迅速な開発と高いユーザーエンゲージメントが実現します。

	ネイティブアプリ	ウェブアプリ	LINEミニアプリ
プラットフォーム	• App Store, Google Play	• Webブラウザ (Safari, Chrome, etc.)	• LINEアプリ
ダウンロード・会員登録	• アプリダウンロードが必要 • 初回の会員登録やログイン	• ダウンロード不要 • 初回の会員登録やログイン	• ダウンロード不要 • LINEアカウントで即ログイン
通知	• プッシュ通知	• メール通知 • ブラウザ通知	• LINEミニアプリ専用の通知 • LINE公式アカウントのメッセージ配信
アクセス導線	• 端末のホーム画面のアイコン	• 検索エンジン	• LINEアプリ内の導線 • 端末のホーム画面のアイコン
開発工数	• iOSとAndroidそれぞれで開発 • アプリストアのリリース審査あり	• ウェブ技術 (HTML,CSS,JavaScript) • 審査なしで公開可能	• ウェブ技術+LINE API • 審査なしで公開可能
UI/UX	• iOS・Androidのデザインガイドを遵守し自由に実装 • デバイス固有のAPIが利用可能 (カメラ、GPS、センサーなど)	• 独自のデザインで自由に実装 • ウェブ技術を用いた機能実装	• ヘッダー等の一部デザインのみ固定 • ウェブ技術を用いた機能実装 • LINE APIが実装可 (メッセージ送信・QRコードスキャン等)

ウェブアプリとLINEミニアプリの違い

LINEミニアプリを利用することで、LINEのユーザーIDの取得やLINE公式アカウントへのメッセージ送信など、LINEアプリを活用した様々な追加機能をウェブアプリに付与できます。また、LINEミニアプリはLINEアプリ上で動作するウェブアプリであるため、サービスやデータは事業者が所有しており、開発も事業者側で行います。

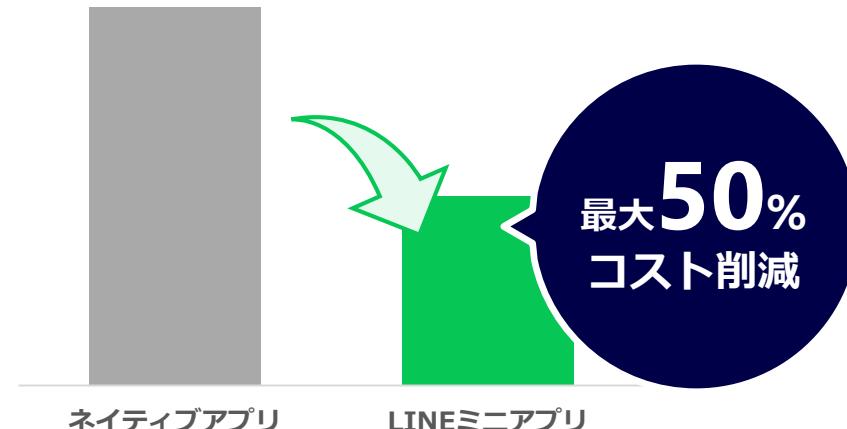


ネイティブアプリとLINEミニアプリとのコストの違い

LINEミニアプリはウェブアプリケーションとして提供されるため、OSの違いを気にせずに共通のプログラムで実現可能です。そのため、初期開発と保守・運用においてコスト（費用や工数）を削減できる可能性があります。

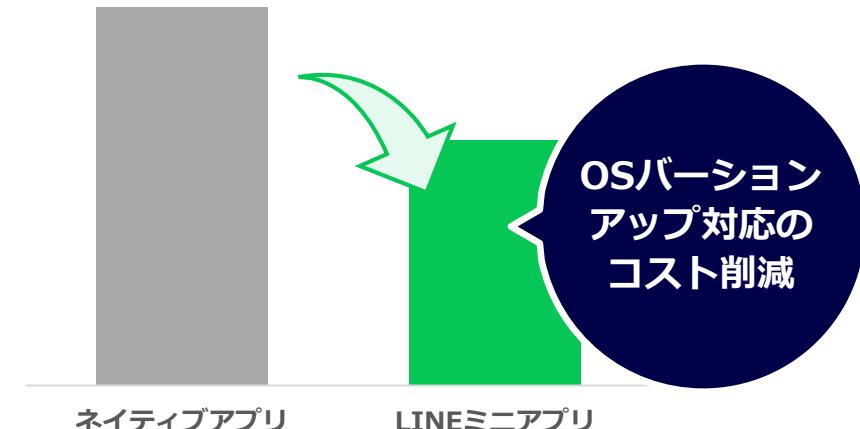
初期費用のコスト

ネイティブアプリ開発では、iOSとAndroidそれぞれに対応する必要があります。コストが高くなります。クロスプラットフォーム開発の場合でも、認証基盤などは、iOSとAndroidそれぞれで開発が必要となり、一定の開発費が発生することがあります。



保守・運用のコスト

LINEミニアプリはネイティブアプリに比べてOSバージョンアップの対応が不要なため、コストを抑えることが可能です。



LINEミニアプリの特徴や利点について



すぐにサービスが使える



追加のアプリダウンロードや
会員登録が不要で
すぐに
サービス利用を開始



友だちがどんどん増える



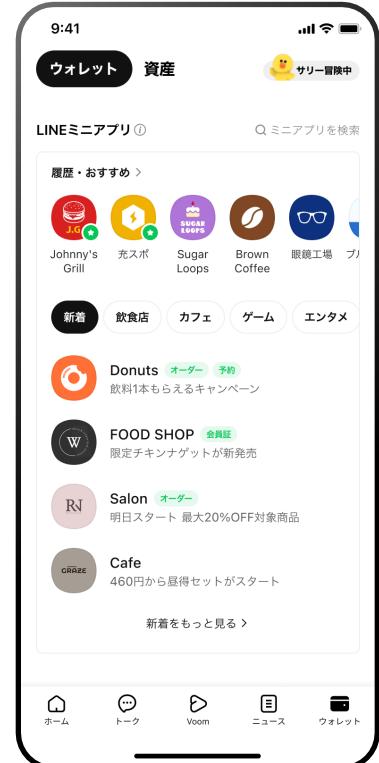
LINEミニアプリを
利用したユーザーが
友だちに追加※1



LINEミニアプリの特徴や利点について



簡単に探せる・見つかる



LINEのウォレットタブから
起動可能

その他起動導線

QRコード・NFCタグ

端末のホーム画面※1

LINEアプリ内検索※1

LINEマイカード※1※2

LINE公式アカウント



無料でお知らせできる



「LINEミニアプリ お知らせ」
から無料でメッセージ送信※1



LINEミニアプリの特徴や利点について



LINEの友だちに手軽にシェア

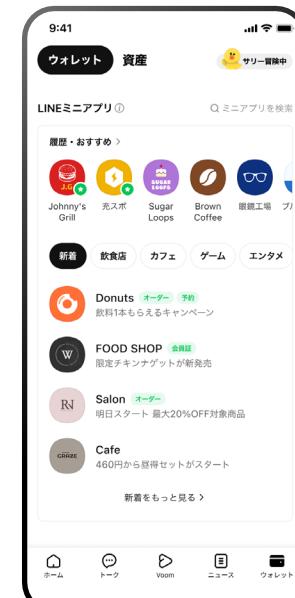


メッセージの
カスタマイズも
可能※1



ユーザーIDを都度の同意無しで取得可能

ユーザーがLINEミニアプリを起動すると、
事業者は即時にユーザーIDを取得可能※1※2



※1 認証済ミニアプリ限定の機能です。

※2 ユーザーデータの取得・提供にあたっては、ユーザーの許諾が必要です。

LINEミニアプリの特徴や利点について



ウェブ技術のほとんどをサポート

HTML5のほとんどの仕様に対応
Google Maps APIなどのAPIも使用可能

実装できる機能の例

決済	位置情報取得	マップ
ポイント	カート	配送
カメラ	カレンダー	SNS
分析	CRM	認証

認証済ミニアプリ・未認証ミニアプリ・LIFFアプリ 見た目の違い

LINEミニアプリには認証済ミニアプリと未認証ミニアプリの2種類があります。また、類似のサービスとしてLIFFアプリも存在します。

ヘッダー

認証済ミニアプリ

- ・ウェブページのタイトル
- ・ミニアプリ名・バッジ



未認証ミニアプリ・LIFF

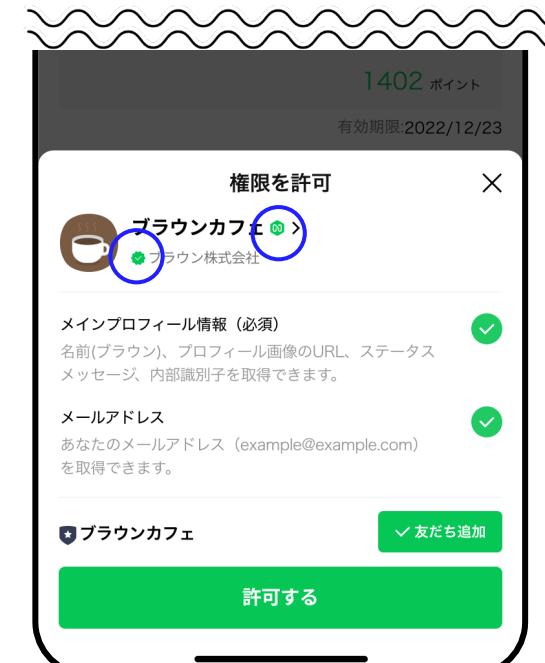
- ・ウェブページのタイトル
- ・エンドポイントURL



認可画面

認証済ミニアプリ

- ・認証済ミニアプリのバッジ
- ・認証プロバイダーのバッジ



未認証ミニアプリ・LIFF

- ・未認証プロバイダーの場合は警告を表示



認証済ミニアプリ・未認証ミニアプリ・LIFFアプリ 機能の違い

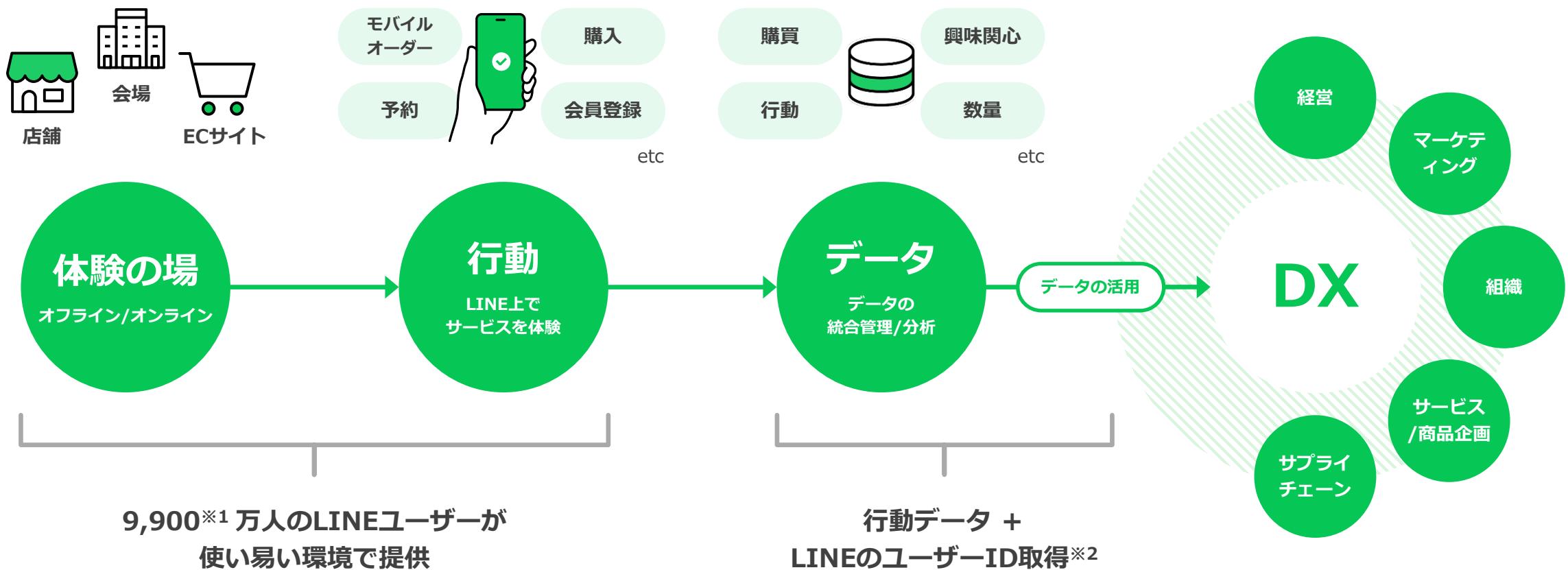
未認証ミニアプリとLIFFアプリは機能の差が殆どありませんが、LIFFアプリのURLを変更せずに認証済ミニアプリにすることはできません。LIFFアプリを作成することを検討している場合は、LINEミニアプリとして作成することを推奨します。

カテゴリ	機能	認証済ミニアプリ	未認証ミニアプリ	LIFFアプリ
ブランディング	認証バッジ	○	×	×
	指定URL設定 (Custom Path)	○	×	×
通知	メッセージの有償通知 (Messaging API)	○	○	○
	メッセージの無償通知 (サービスメッセージ)	○	×	×
アクセス導線	LINEアプリ内のアクセス導線	○	×	×
	端末のホーム画面にショートカットを作成する	○	×	×
CRM	LINE公式アカウントの友だち追加へ誘導する	○	△	△
認可方法	チャネル同意のプロセスをスキップする	○	×	×
審査	LINEヤフーによる認証審査	有	無	無
収益化の手段	Yahoo!広告を掲載する	○	○	×

LINEミニアプリを活用した ビジネス戦略

“より良い顧客体験”から始めるDX

多くのユーザーが普段使い慣れているLINEで利便性を向上させながら、LINEミニアプリを通じた顧客体験によって取得したデジタルデータを自社のサービス・商品企画、マーケティング等の活動に活かすことができます。



※1 自社調べ LINEアプリ 月間アクティブユーザー 2025年9月末時点

※2 LINEアカウントと紐づいた行動データの取得・活用にはユーザーの許諾が必須となります。

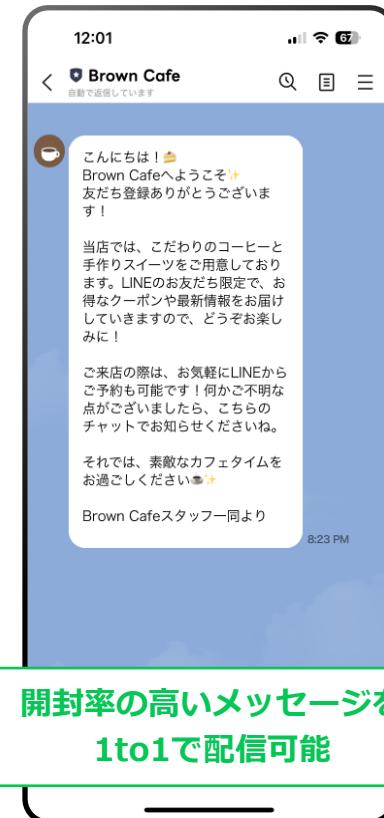
LINEミニアプリを入口に効率的なCRMとリテンションを実現

LINEミニアプリ

- ✓ スムーズな友だち追加
- ・ユーザーデータの許諾・取得

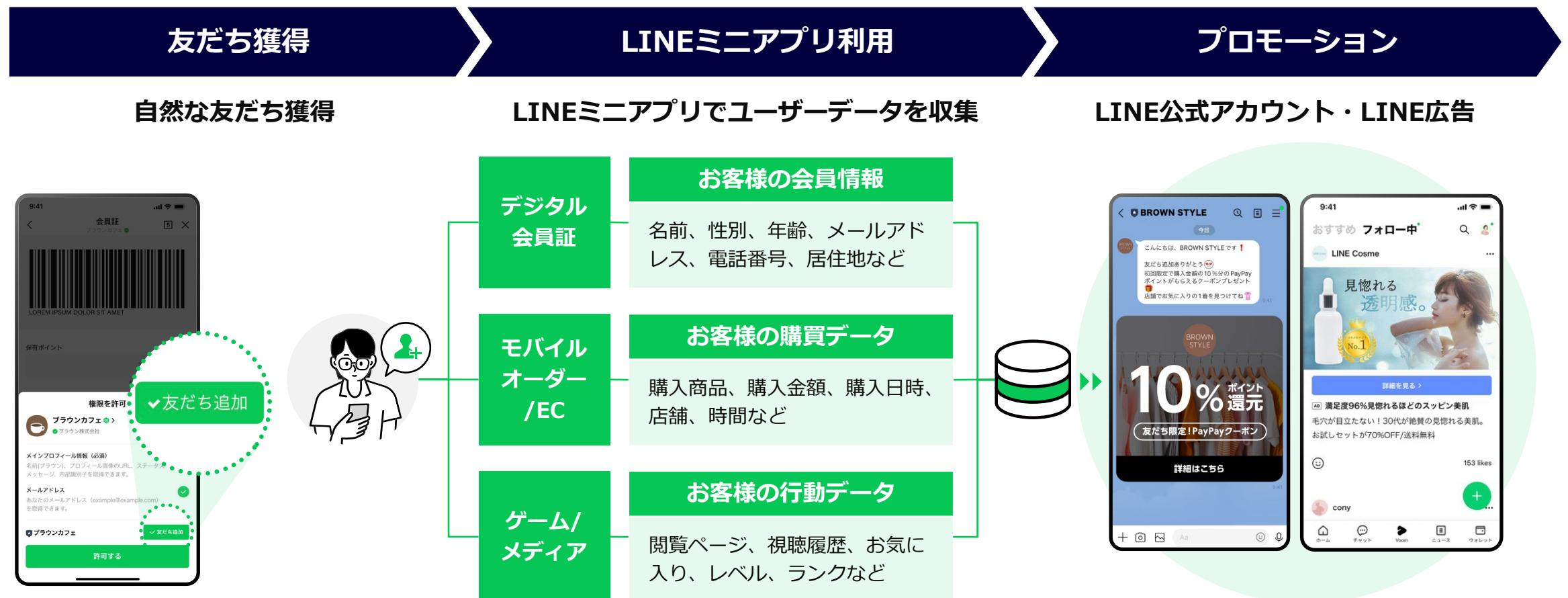
リピート利用の促進

LINE公式アカウント



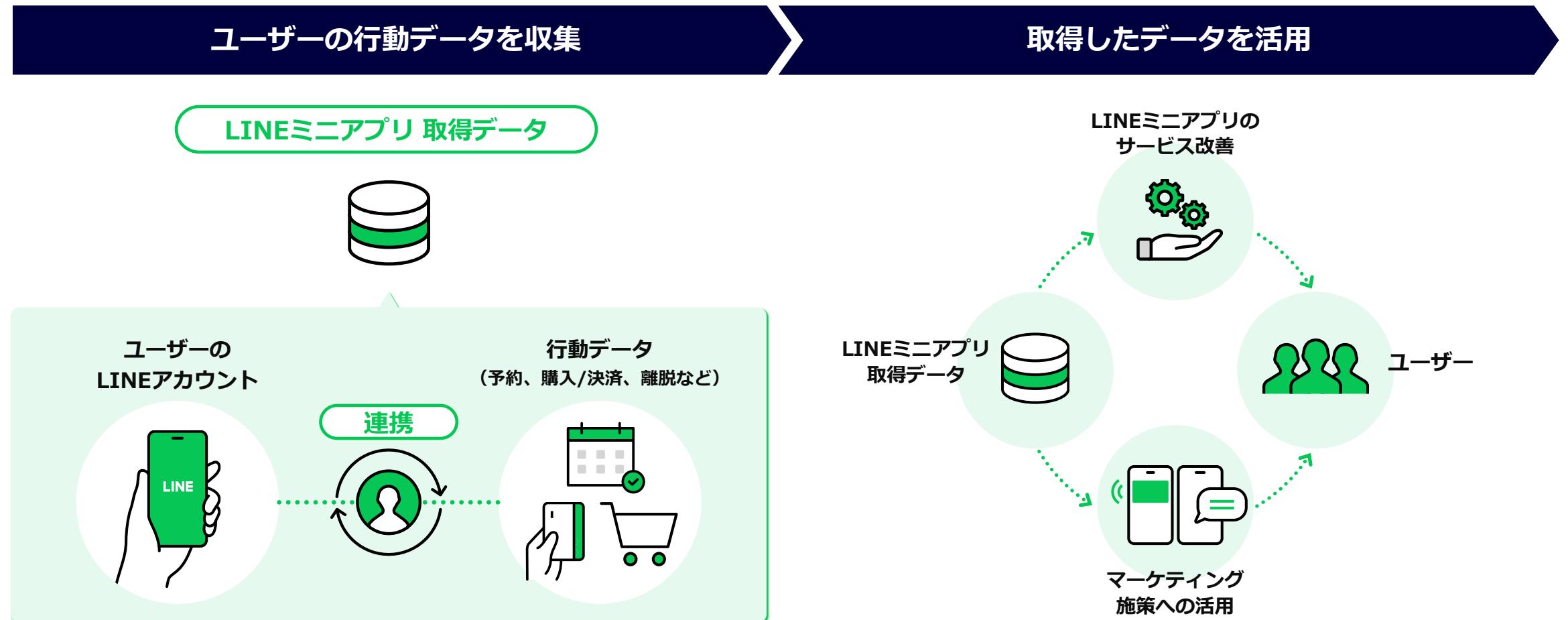
LINEミニアプリを活用したビジネス戦略

LINEミニアプリを活用してデジタル上の顧客接点を作り、顧客体験を向上させることで、ユーザーに利便性を提供しながらデータ取得することが可能です。また、LINEミニアプリ経由で取得したデータ※1を他データと統合することで、LINEのプラットフォーム上で効果的なマーケティング施策に転換することが可能になります。



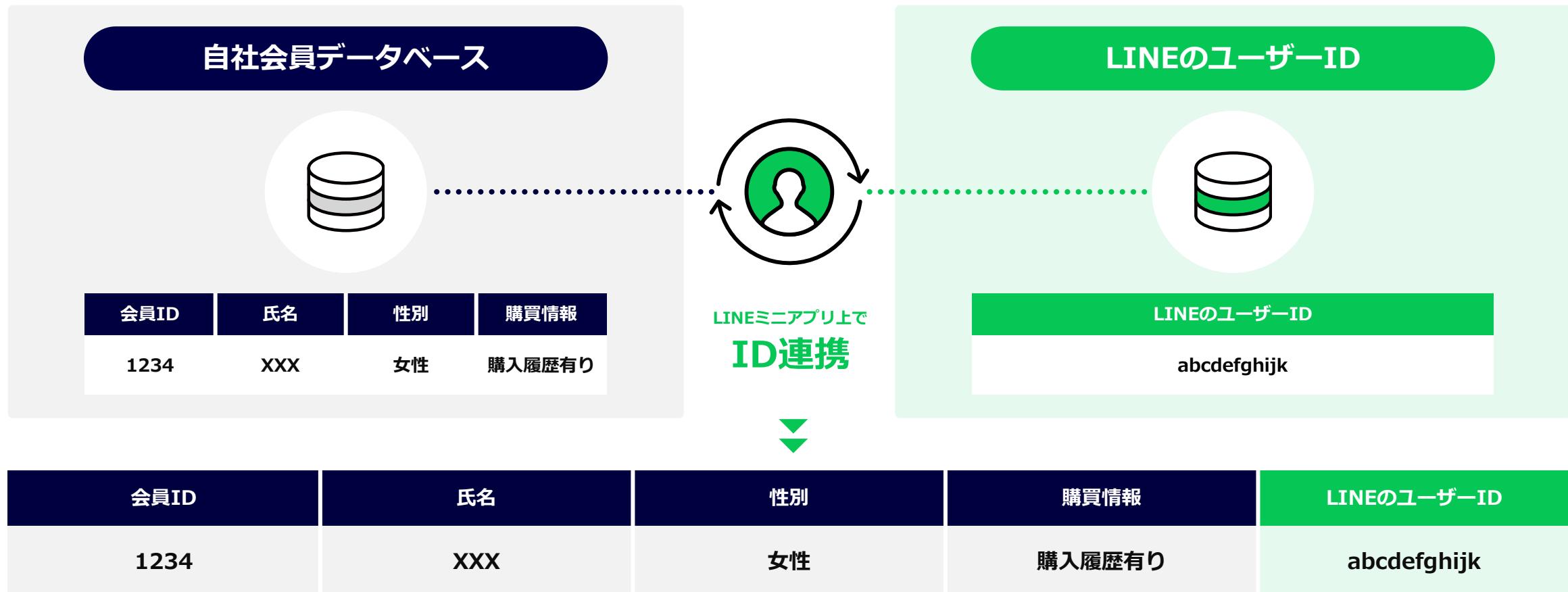
オフライン～オンラインを横断したユーザーデータの取得・活用

LINEミニアプリとLINE公式アカウントを併用することで、LINEのユーザーIDをベースにした行動データの収集とLINEプラットフォームを活用したマーケティングが可能となります。



自社会員基盤とのデータ連携

LINEミニアプリと自社会員基盤のID連携により、LINE公式アカウントを活用して効果的にリピート促進ができるほか、顧客データを統合することで、個別ユーザーの行動や購買履歴に基づいた精度の高いターゲティングが可能となり、マーケティング効果を大幅に向上させることができます。



開発・導入方法

LINEミニアプリの導入方法

LINEミニアプリの導入方法は主に3つあります。それぞれのメリット、デメリットをご確認いただき、自社の状況に合わせて導入方法をお選びください。なお、LINEヤフー社ではLINEミニアプリの開発は行っておりません。

1 パッケージ*

開発各社が提供するSaaS・ASPなどを
通して、LINEミニアプリを導入



メリット

- ・パッケージ化されているためすぐに導入可能
- ・初期費用+月額費用のみで安価に利用できる

デメリット

- ・パッケージ化されている以外の機能は追加開発(別料金)が必要

[Technology Partner](#)
LINEミニアプリ部門(パッケージ)

2 委託開発

貴社オリジナルのLINEミニアプリを開発



メリット

- ・自社用に最適なサービス設計が可能
- ・既存システムとの連携もスムーズに対応

デメリット

- ・パッケージ利用に比べて費用がかかる可能性がある
- ・開発に時間がかかる場合がある

[Technology Partner](#)
LINEミニアプリ部門(委託開発)

3 自社開発

貴社内での開発



メリット

- ・自社に詳しい担当者による設計が可能
- ・自社内で完結できるため費用や工数が抑えられる

デメリット

- ・パッケージ利用に比べて開発工数がかかる可能性がある
- ・開発の内製が必要

[LINE Developers](#)

導入方法 1 パッケージ

パッケージ

開発会社が提供している パッケージを導入する方法



メリット

- ・パッケージ化されているためすぐに導入可能
- ・初期費用+月額費用のみで安価に利用できる

デメリット

- ・パッケージ化されている以外の機能は追加開発(別料金)が必要※

認定パッケージ (一例)

認定パッケージについて詳しくは[こちら](#)のサイトをご覧ください。

モバイルオーダー



会員証・スタンプカード



順番待ち・予約



委託開発

開発会社に依頼し
LINEミニアプリを開発する方法

メリット

- ・自社用に最適なサービス設計が可能
- ・既存システムとの連携もスムーズに対応

デメリット

- ・パッケージ利用に比べて費用がかかる可能性がある
- ・開発に時間がかかる場合がある

認定委託開発企業（一例）

認定委託開発企業について詳しくは[こちら](#)のサイトをご覧ください。

The collage includes:

- ecbeing**: A green-themed page for a mission-based loyalty program. It features a smartphone displaying the 'iRidge' app and icons for various member benefits.
- evolany**: A page showing a collage of various mobile application interfaces.
- Mygru**: A red-themed page for a mission-clearing communication tool. It features a smartphone displaying the 'Mygru' app and icons for 'オフライン × オンライン' (Offline x Online) and 'ミッションクリア型コミュニケーションツール' (Mission-clearing communication tool).
- Classmethod**: A page showing three people in a meeting, with text indicating they are experts in their respective fields.

自社開発

貴社内での開発



メリット

- ・自社に詳しい担当者による設計が可能
- ・自社内で完結できるため費用や工数が抑えられる

デメリット

- ・パッケージ利用に比べて開発工数がかかる可能性がある
- ・開発の内製が必要

LINE Developers

LINE Developersについて詳しくは[こちら](#)のサイトをご覧ください。

The screenshot shows the LINE Developers API Reference page for LINE Mini Apps. The page has a blue header with the title 'LINE Developers' and a navigation menu. The main content area is titled 'LINEミニアプリ APIリファレンス' (LINE Mini App API Reference). On the left, there is a sidebar with a navigation menu including 'APIリファレンス' (API Reference), 'LINEミニアプリ' (LINE Mini App), '開発ガイドライン' (Development Guidelines), 'クイックスタートガイド' (Quick Start Guide), 'LINEミニアプリを知る' (Know about LINE Mini App), 'デザイン' (Design), '開発' (Development), '申請' (Application), and 'サービス運営' (Service Operation). The main content area contains sections for 'サービスメッセージ' (Service Message) and '認証済ミニアプリでのみ利用できます' (Available only for certified Mini Apps). The right side of the page has a sidebar with links for 'サービスメッセージ' (Service Message), 'サービス通知トークンを発行する' (Issue a service notification token), and 'サービスメッセージを送る' (Send a service message).

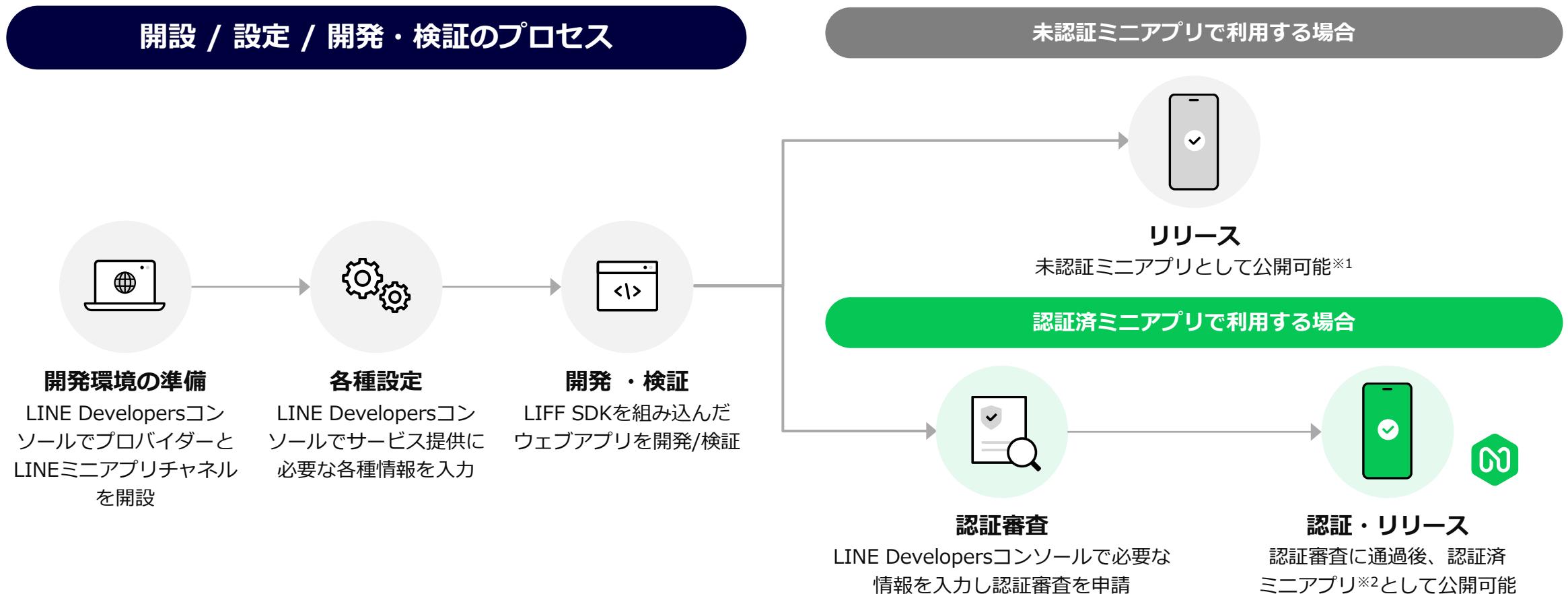
LINEミニアプリ リリースまでの流れ

「パッケージ」「委託開発」の場合は、まずは開発会社にお問い合わせの上、各種ステップの対応を進めてください。
「自社開発」の場合は、LINE Developers内で開発ドキュメントを確認の上、自社でサービス開発を進めてください。
なお、LINEヤフー社ではLINEミニアプリの開発は行っておりません。



LINEミニアプリ 開発の流れ

LINEミニアプリチャネルを開設した時点で、未認証ミニアプリとして公開することができます。そのため、自由なタイミングでサービスを開始することが可能です。なお、必要な情報を入力し、認証審査を申請した後に審査を通過すると、認証済ミニアプリとして公開することができます。

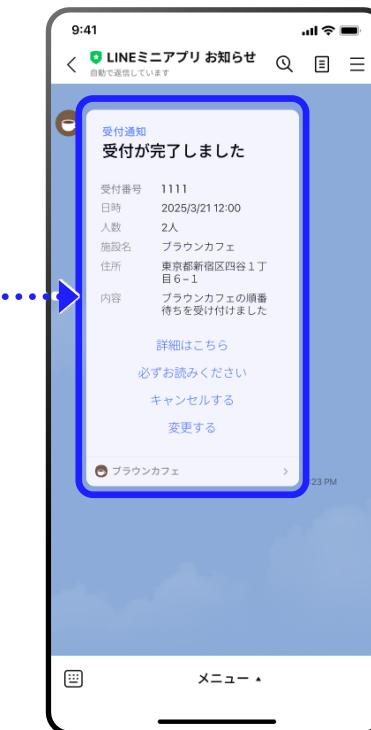


カスタム機能

サービスメッセージ

サービスメッセージは、LINEミニアプリ上でのユーザーの操作（アクション）に対する確認や応答として、ユーザーが知っておくべき情報をLINEミニアプリから通知※1する機能です。サービスメッセージの送信に対して費用はかからず無料でご利用いただけます。また、サービスメッセージが送信されるアカウントはロックできません。

LINEミニアプリ上でのユーザーの操作に対して通知が可能



アカウントはロック不可



LINE Developers ドキュメント

<https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/develop/service-messages/>

サービスメッセージ活用手引き

サービスメッセージの仕様やサービスシナリオ別のユースケースをご紹介しております。

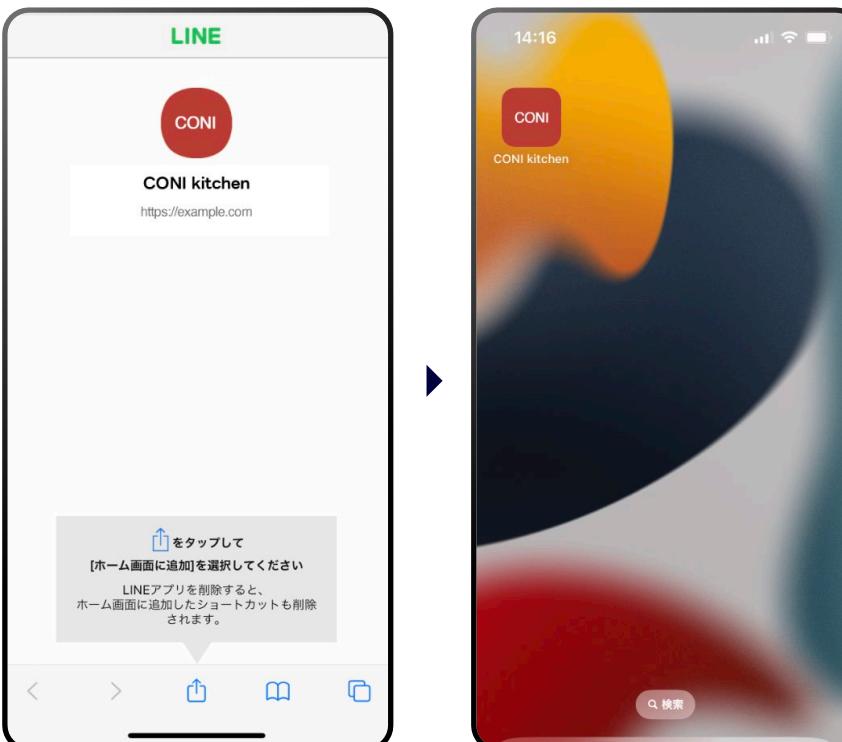
<https://workers-hub.box.com/s/em5oyac6l2697guqhk7e05sv9e9mrs4s>

ホーム画面へのショートカット追加

ユーザー端末のホーム画面にLINEミニアプリへのショートカットを追加できます。

これにより、ユーザー端末のホーム画面からLINEミニアプリに直接アクセスできるようになります。

ホーム画面からLINEミニアプリが起動！



主なメリット

✓ **目的のLINEミニアプリがすぐに見つかる・使える**

LINEアプリ上からLINEミニアプリを探す手間が省け、より迅速なサービスアクセスが可能に！

✓ **ユーザーエンゲージメント向上**

端末のホーム画面に表示されることで、LINEミニアプリの定期的な利用が促進され、利用頻度の向上が見込めます！

ユーザー端のホーム画面へのショートカット追加機能について

ショートカット追加機能の仕様や実装に関するベストプラクティスをご紹介しております。<https://workers-hub.box.com/s/pgg8q3ikb8dutgskd9dm8tgxc4kz9vuw>

LINE Developers ドキュメント

<https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/develop/add-to-home-screen/>

<https://developers.line.biz/ja/reference/liff/#create-shortcut-on-home-screen>

Custom Path

Custom Pathとは、本番用のLIFF URLに設定する独自の文字列のことをいいます。LINEミニアプリのURLの末尾を自社のブランドや店舗の名前に設定することで、ブランディングの強化や信用度の高いURL文字列による離脱防止にお役立ていただくことができます。

Custom Path対応URL

末尾のLIFF ID部分を希望の文字列に変更できます

■通常のLIFF URL

<https://miniapp.line.me/12345-abcde>

↑ LIFF IDで自動設定

■Custom Path対応URL

https://miniapp.line.me/cony_cafe

↑ 希望の文字列指定が可能

- Custom Pathを設定した後も、通常のLIFF URLからご利用いただくことができます。
- 現在、Custom Pathは日本地域のみ利用可能です。

販促物やウェブサイトでの ブランディング強化

https://miniapp.line.me/cony_cafe



Custom Pathについて

Custom Pathの仕様や申請方法に関する詳細をご紹介しております。

<https://workers-hub.box.com/s/vyda6tksg3mtv8gnacng2mw4tixz0lj>

LINE Developers ドキュメント

<https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/develop/custom-path/>

メッセージ上での 信頼性のあるURLシェア

https://miniapp.line.me/cony_cafe?invitecode=12345

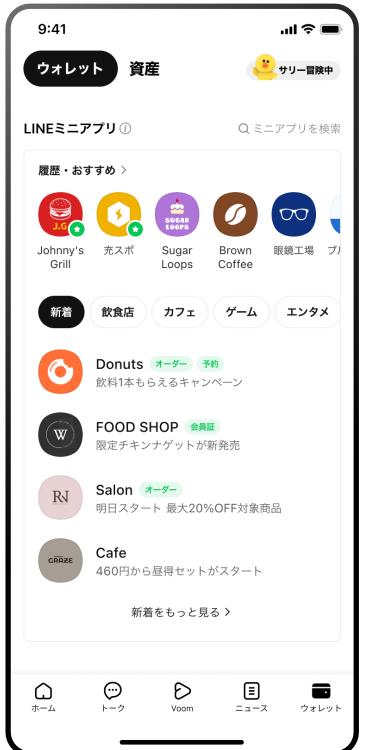


LINE公式アカウントとの連携

LINEミニアプリでは、LINE公式アカウントを友だち追加するオプションを表示できます。認証プロバイダーの場合は、デフォルトでONに設定できます。これにより、LINEミニアプリの利用とあわせて自然にLINE公式アカウントの友だち追加への誘導ができます。

step 01

LINEの
ウォレットタブから起動



step 02

LINEミニアプリの
利用を開始



step 03

友だち追加オプションが表示



LINE Developers
ドキュメント

<https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/discover/custom-features/#OA-friend>

Yahoo!広告を掲載する（アプリ内広告）

「Yahoo!広告」をLINEミニアプリ内に掲載いただくことでLINEミニアプリを収益化することが可能です。LINEミニアプリでは、ユーザーに安心して利用していただけるよう、LINEヤフー株式会社が審査した広告のみが表示される「Yahoo!広告」を広告ネットワークとして定め、その広告を表示できるようにしています。



広告視聴による
リワード広告
が実装可

様々な
広告サイズ/
フォーマット
が選択可

- ユーザーが広告を視聴することを条件として、掲載面側がユーザーに報酬を与えるリワード広告を提供
- 収益性向上に向けた改善施策をアップデート予定

LINE Developers ドキュメント

<https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/service/line-mini-app-ads/>

詳細・利用申し込み方法

https://s.yimg.jp/images/listing/partnerportal/document/yahooads_networkpartnerlineminiapp.pdf

シェアターゲットピッカー

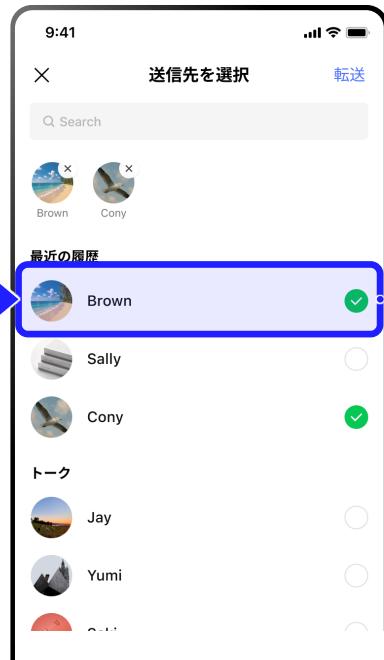
シェアターゲットピッカーは、グループまたは友だち選択する画面を表示し選択した相手に開発者が作成したメッセージを送信できる機能です。ユーザーはLIFF/LINEミニアプリ上から他のユーザーに対して直接メッセージを送ることができるために、特にソーシャルな要素を持つサービスや機能において、ユーザー同士の相互作用やコミュニケーションが促進され、利用価値が高まります。

step 01 step 02 step 03

LIFFアプリ/LINEミニアプリ上に
導線を設置



ターゲットピッカーで
送信先を選択・送信



配信先のトークルームに
メッセージが届く



LINE Developers ドキュメント

<https://developers.line.biz/ja/docs/liff/developing-liff-apps/-share-target-picker>

シェアターゲットピッカー について

シェアターゲットピッカーの仕様やサービスシナリオ別のユースケースをご紹介しております

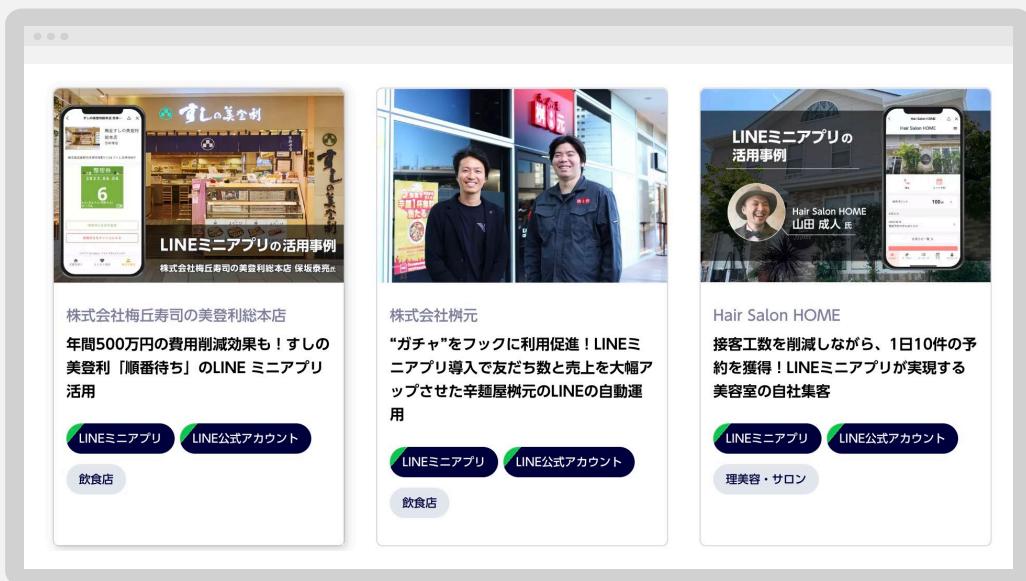
<https://workers-hub.box.com/s/rr0dhuztb6knmdbf4pweejg8dacezouq>

Appendix

LINEミニアプリの導入事例

具体的なLINEミニアプリの導入事例をご紹介しております。参考にご覧ください。

LINEヤフー for Business 掲載事例



<https://www.lycbiz.com/jp/case-study/>

LINEミニアプリ導入事例資料



<https://www.lycbiz.com/jp/ebook/line-mini-app/start-guide/>

LINEミニアプリの導入事例

LINE APIやLINEミニアプリで何ができるのかを知りたいという方の為に、様々なLINE APIを活用したユースケース、事例、デモアプリなどをご紹介しており、各APIの挙動をわかりやすく体験いただけます。



LINE API UseCase

<https://lineapiusecase.com/>

例 1 モバイルオーダー デモ



■ LINE API UseCaseサイト
<https://lineapiusecase.com/ja/usecase/tableorder.html>

■ サンプルコード：AWS Serverless版
<https://github.com/line/line-api-use-case-table-order>



例 2 デジタル会員証 デモ



■ LINE API UseCaseサイト
<https://lineapiusecase.com/ja/usecase/membership.html>

■ サンプルコード：AWS Serverless版
<https://github.com/line/line-api-use-case-MembersCard>

■ サンプルコード：Azure Serverless版
<https://github.com/line/line-api-use-case-members-card-azure>



Technology Partner LINEミニアプリ部門について

優れたユーザー体験と企業DXに貢献する「LINEミニアプリ」の開発を支援し、クライアントの成功を共に実現していくため、「LINEミニアプリ」を通じてビジネス・サービス成長の実現をコミット頂いたパートナー様を対象に、開発サポート、マーケティング支援、補助金支援、営業支援等を実施するパートナープログラム制度を運営しています。

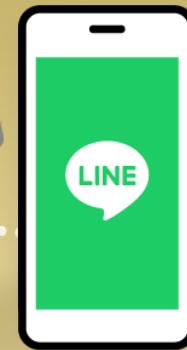
LINEヤフーPartner Program



開発サポート



マーケティング支援



補助金支援



営業支援

Technology Partner LINEミニアプリ部門

LINEミニアプリの開発・審査に役立つドキュメント

LINEミニアプリの開発・審査に役立つLINE Developersドキュメントをご紹介します。

はじめに	LINEミニアプリの開発から公開までの流れを掴むことができます。 https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/quickstart/
開発を始めよう	LINEミニアプリチャネルの作成方法や内部構造、開発時に気をつけることなどがわかります。 https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/develop/develop-overview/
プロバイダーとチャネル管理の ベストプラクティス	プロバイダーとチャネルを適切に紐づけるのに役立ちます。 https://developers.line.biz/ja/docs/line-developers-console/best-practices-for-provider-and-channel-management/
LINEミニアプリ用 コンソールガイド	LINEミニアプリチャネルのコンソールでの情報の入力や設定を行う際に役立つ情報が書かれています。 https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/discover/console-guide/
運用中のウェブアプリを LINEミニアプリ化する	既に運用しているウェブアプリをLINEミニアプリにしたい場合はこちらのドキュメントをご参照ください。 https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/develop/web-to-mini-app/
審査を依頼する	認証済ミニアプリにするための審査の方法がご確認いただけます。 https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/submit/submit-guide/
認証済ミニアプリ更新後の再審査	認証済ミニアプリになった後に再審査が必要となる項目をご確認いただけます。 https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/service/update-service/
認証審査サポート資料	審査項目のより詳細な設定方法や、よくある設定ミスを知ることができます。 https://workers-hub.ent.box.com/file/1565988628339?s=35gmakb8zn8cm9m2zylu8ci6xjnp04aw

利用規約とユーザーデータポリシー

LINEを活用して顧客体験を構築する際は、LINE社が公開する各種利用規約及びユーザーデータポリシーをお読みいただき、遵守いただいた上で、開発及びサービス提供を行なってください。

LINEユーザーデータポリシー	LINEが提供するSDKまたはAPIを利用する開発者が、LINEユーザー情報の取り扱いについて準拠すべきポリシーです。 https://terms2.line.me/LINE_Developers_user_data_policy?lang=ja
LINEミニアプリポリシー	LINEが提供するLINEミニアプリにおけるプラットフォームの利用や、審査について定めるものです。 https://developers.line.biz/ja/docs/line-mini-app/submit/line-mini-app-policy/
LINEミニアプリ プラットフォーム規約	LINEミニアプリのプラットフォームにおいてアプリケーションを開発及び運用する際の条件を定めるものです。 https://terms2.line.me/LINE_Developers_MINI_App_JP?country=JP&lang=ja
LINE公式アカウント利用規約	LINEが提供するLINE公式アカウントに関するすべてのサービスの利用に関する条件を定めるものです。 https://terms2.line.me/official_account_terms_jp?lang=ja&country=JP
LINE公式アカウント API利用規約	LINEが提供するLINE公式アカウントサービスにおけるAPIの利用について定めるものです。 https://terms2.line.me/official_account_api_terms_jp?lang=ja
LINE開発者契約	LINEが提供するSDKまたはAPIの利用条件に関する契約です。 開発者は、SDKまたはAPIを使用する前に本契約に合意する必要があります。 https://terms2.line.me/LINE_Developers_Agreement

よくあるご質問

Q

開発ベンダーの異なる複数のLINEミニアプリを併用できますか？

可能です。ただし、LINEユーザー情報を共通利用する場合は、各サービス上でプロバイダーページへの導線を設け、各サービスが同一のプロバイダーで提供されることをユーザーに周知してください。

Q

LINEミニアプリとLINEログインを比較した場合、どのようなメリット/デメリットがありますか？

LINEミニアプリでは、LINE API等を活用した高度なサービス設計やLINEアプリ内からのスムーズな送客ができ、LINEログインはLINEプラットフォームに依存せずにLINEアカウントを使った認証が可能です。

Q

認定パートナー以外でもLINEミニアプリを開発・導入できますか？

LINEミニアプリはオープンプラットフォームとなっており、どなたでも開発・導入が可能です。実績豊富な認定パートナーに依頼することで、LINEミニアプリをスムーズに開発・導入することができます。

Q

LINEミニアプリに紐付られるLINE公式アカウントは1つですか？

LINEミニアプリに紐づけられるLINE公式アカウントは1つです。紐付けを行うと、ユーザーがLINEミニアプリを初めて開いたときの同意画面にLINE公式アカウントを友だち追加するオプションが表示されます。

Q

LINE公式アカウントをブロックされた場合、もう一度友だち追加を促すことはできますか？

LINE公式アカウントを友だち追加するオプションが表示される同意画面は、初めてLINEミニアプリを利用する際のみ表示されます。そのため、繰り返し同意画面を表示し、友だち追加させることはできません。

その他のよくあるご質問は、LINE for Businessのよくあるご質問 > ミニアプリのページを参照してください。

<https://help.linebiz.com/lineadshelp/s/topic/0TO5i00000DxxsGAC/line%E3%83%9F%E3%83%8B%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA?language=ja>

お申し込み・お問い合わせ総合窓口

お申し込み・お問い合わせにつきましては、弊社営業担当までお問い合わせください。

営業担当がない、不明な場合は「LINEヤフー for Business」のお問い合わせフォームをご利用ください。

LINEヤフー for Business

お問い合わせ > LINEサービスに関するお問い合わせ
「新規サービス導入のお問い合わせ」

<https://www.lycbiz.com/jp/contact/>

LINEヤフー

ウェブサイト

<https://www.lycbiz.com/jp/>